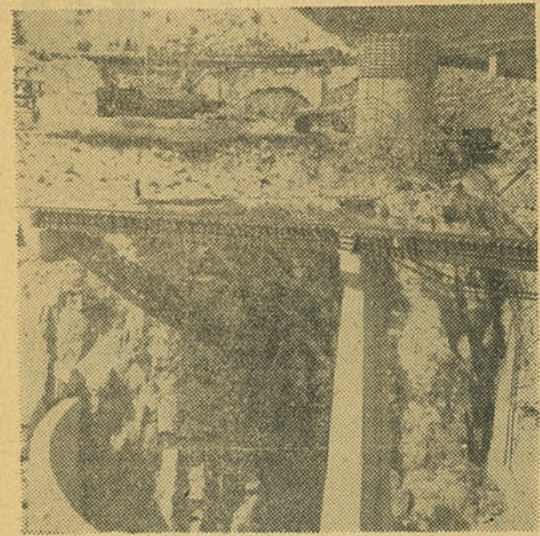
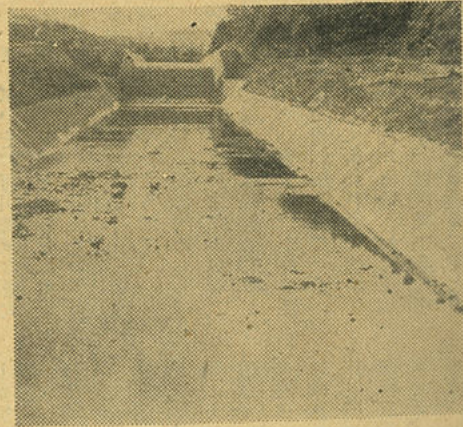
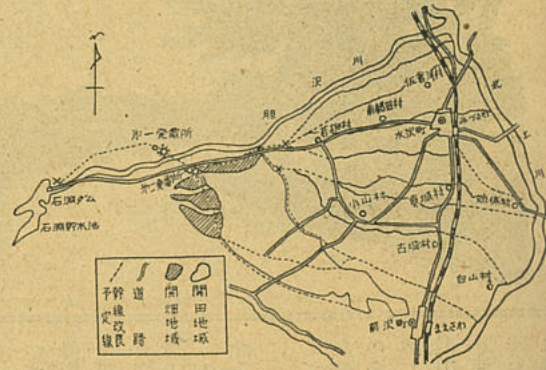


【昭和二十六年七月の石淵ダム=投石事業最盛期】



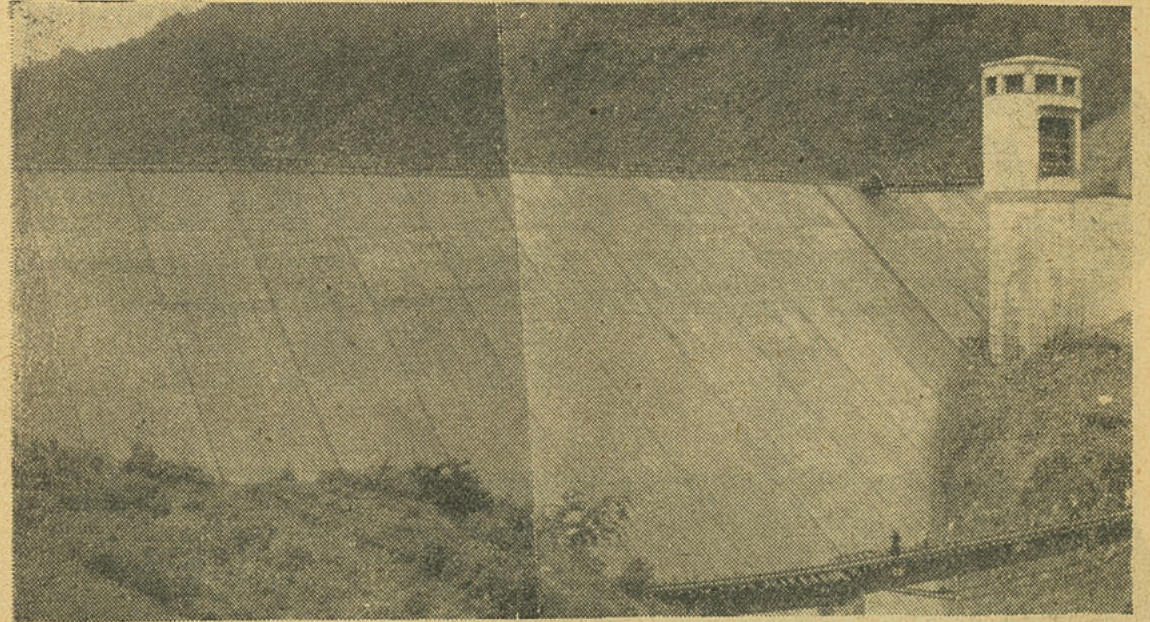
【昭和二十七年七月の石淵ダム=投石事業ほぼ完成の頃】

石淵ダム関係図



【膽澤平野農業水利事業のうち、完成した第一號幹線排水路(前澤町にて)】

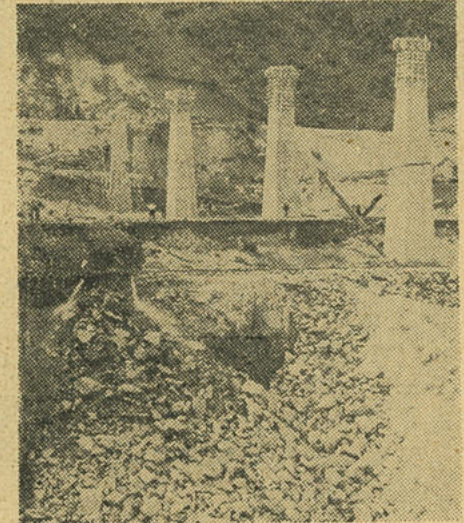
ダムができたけれど＝農業水利事業の用水取入口と第二発電所の箇所が未だ決らず、農業水利事業は幹線排水路の一部しか着工できずにいます。又、開田開地帯の買収、それから水路用地の決定など、そこには早急に解決しなければならない問題が山積しています。この解決こそ、総合開発の試金石です。



【完成した石淵ダム
全影=上流から】



【昭和二十五年十月二十五日、ダムに使用する石を得るため五十六トンの爆薬をつかった日本一の犬發破】



【昭和二十五年六月頃=投石作業】

石淵ダムでできるまで

表紙

(石淵ダムの偉容)
高さ五三米、全長三四五米
貯水面積一、〇八平方軒
總投石量四六萬二千立方米

石淵ダム(胆沢郡若柳村)は本県の北上川洪水調節五大ダムの一つです。昭和廿一年九月、建設省の直轄工事として着工され、七年の歳月と十三億円の巨費を投じ、日本最初のロックヒルダムとして今年六月廿日全く完成し、盛大な完工式を行いました。

このダムは洪水調節のほか、二地点で発電最大二万KWをおこし、さらに胆沢平野の旧田六千歩の水不足を解決し、新に一千歩の開田開畑を行います。

発電は電源開発会社の手で昨年から第一発電所(最大一萬五千KW)から着工され今年末までには完成します。

胆沢川農業水利事業は昭和廿六年度から農林省直轄工事として事業費六億八千万円の予算で着手されています。そして今年開田開畑予定地千歩の買収が行われます。

このダムは、岩手県の総合開発の中核となる数多くの多目的ダムのうち、一番最初に完成した第一号ダムです。

さて、それでは石淵ダムのできるまでを、写真によつて紹介いたしましょう。